

9月
定例会



VOL. 34

いかた 議会だより

平成25年(2013年)11月

発行 愛媛県 伊方町議会

編集 議会だより編集委員会

電話 ㊟-0211(内線410)

㊟-2662(直通)



第2回 伊方町民運動会

職域対抗リレー 9.29 (議会チームも参加)

今回の主な内容

第34回定例会の動き・主な決定事項	2P
平成25年度補正予算	3P
いっぱん質問	4P~5P
第30回臨時会	6P
委員会報告	7P
議会日誌	8P



9月定例会の動き

第34回定例会は、9月13日～19日開催

報告5件、条例5件、決算13件、
補正予算7件、契約2件、
発議2件、その他6件

(すべて原案可決・認定しました)

主な決定事項

報告

寄附採納

伊方町九町 得能鶴利氏より
社会福祉の増進に役立てて欲しいと寄
附があったことを報告

伊方町湊浦 梶田和昭氏より
社会福祉の増進に役立てて欲しいと寄
附があったことを報告

町長の専決処分事項報告

議決が必要な事項の内、予め議会に
おいて町長の権限で執行し、事後報告
を認めた軽易な事項の執行状況を報告

平成24年度伊方町の財政の健全化判断 比率及び資金不足比率

平成24年度決算における本町の財政
状況を、地方公共団体の財政の健全化
に関する法律に規定する比率で示し、
健全な状況にあることを報告

平成24年度伊方町の教育に関する事務 の点検・評価報告書の提出

平成24年度における本町の教育行政
の実態を、地方教育行政の組織及び運
営に関する法律の規定に基づいて評価・

点検し、概ね良好な状況にあることを
報告

条例

伊方町税条例の一部を改正する条例制 定

地方税法施行令の改正に伴い、伊方
町税条例に定める県・町民税の課税規
定の一部を改正

伊方町国民健康保険税条例の一部を改 正する条例制定

地方税法施行令の改正に伴い、伊方
町国民健康保険税条例に定める所得割
の課税規定の一部を改正

伊方町立学校設置条例の一部を改正す る条例制定

佐田岬小学校を三崎小学校に統合す
ることに伴う改正

伊方町体育施設条例の一部を改正する 条例制定

佐田岬小学校の統合に伴い、同校の
体育館を社会体育施設として利用する
ための改正

伊方町公共賃貸住宅条例の一部を改正 する条例制定

佐田岬小学校の統合に伴い、同校の
教職員住宅を町営住宅として利用する

ための改正

決算

平成24年度伊方町一般会計及び特別会 計歳入歳出決算認定

平成24年度一般会計及び12特別会計
歳入歳出決算を認定(決算内容は広報
いかた11月号に掲載)

予算

平成25年度伊方町一般会計及び特別会 計補正予算

平成25年度伊方町一般会計及び6特
別会計の補正予算を決定
(一般会計補正予算の内容は次ページ
のとおり)

契約

九丁漁港海岸保全施設整備事業請負契 約の締結

契約金額 5,691万円
契約相手 有限会社竹場建設

伊方港中之浜東防波堤(改良)工事請 負契約の締結

契約金額 8,106万円
契約相手 飛田建設有限会社

発議

道州制導入に断固反対する意見書の提出

町村や国民に対して十分な説明がないまま、国において道州制の導入が進められようとしていることに対し、本町議会は断固反対する旨の意見書を政府・国会に提出することを決定

森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書の提出

地球温暖化防止や水資源の涵養等に大きな役割を果たす森林の保全を推進する市町村に対し、国はその財源を確保し、提供すべきとの意見書を政府・国会に提出することを決定

その他

町長の専決処分事項報告

議決が必要な事項の内、緊急を要するため地方自治法の規定に基づき、議決に先立って町長が執行した事項を議会に報告し、承認を得たもの

伊方町国民健康保険瀬戸診療所医療機器の取得

取得価格

2,892万7,500円

取得相手

共和医理器株式会社愛媛支店

町道路線の認定

県道鳥井喜木津線の改良に伴い、新たなルートが設けられた伊方越字広田から亀浦字平畑までの区間について、改良前のルートを町道有寿来線として引き継ぐもの

伊方町立瀬戸・三崎中学校情報機器の取得

取得価格 1,386万円

取得相手 四国放教株式会社

議会運営委員会の閉会中の継続調査

議会閉会中における委員会活動の継続を決定

原子力発電対策特別委員会の閉会中の継続調査

議会閉会中における委員会活動の継続を決定



一般会計補正予算の主な内容
ホームページリニューアル委託費を追加し
予算総額を98億275万2千円に

(単位：千円)

事業内容	予算額
ホームページリニューアル委託	6,718
危険廃屋解体撤去補助金	2,177
中山間直接支払交付金事業	90,827
鳥津漁港改良工事	14,280
九丁漁港二見船揚場新設工事	9,492
観光まちづくり委託費	5,000
道路維持事業	37,498
道路新設改良工事	45,001
伊方港測量設計委託	11,361
消防ポンプ格納庫新築調査設計委託	5,520
佐田岬小学校閉校事業補助金	2,384
耐震補強設計事業	9,934
テニスコート補修工事	28,500



中山間地域交付金で農村活性化を支援



町民グラウンドのテニスコートを補修

いっばん質問



篠川長治議員

Q、小中学生医療費の無料化による子育て支援を。
A、町民のニーズに照らし、他の支援策に優先すべきか判断したい。

Q、原発の廃炉・縮小の流れに備えた伊方町の産業政策は。
A、基幹産業である第一次産業の活性化を最優先に取り組む。

問 本町における小中学生の医療費助成は入院に係る一部負担金の助成となっているが、これを医療に係る一部負担金の全額を助成することにより、次の世代を担う子どもを安心して生み育てる元気なまちづくり、その他社会保障等について町長の所見をお伺いする。

答 児童医療費の助成については平成24年度に制度改正を行い、従来6歳までの乳幼児を対象としていた助成を、入院医療費については15歳まで拡大した経緯がある。

議員は更に15歳まで医療費の完全無料化を求めているが、そのためには毎年度千二百万円の財源が必要と試算される。町内の子育て世代の方々が、他の子育て支援に優先して医療費の完全無料化を望むというのであれば、私は躊躇なく実現したいと思うが、果たして医療費の完全無料化が本町の子育て支援策の最優先課題であるのか。私は行政の責任者として限られた

財源の中で効率的かつ真に必要な住民サービスの実現に努めているが、平成27年度からは合併による国の財政支援が段階的に縮小されるため、非常に厳しい財政事情が予測される。このため今年度と来年度の2ヶ年で合併後のまちづくりを評価・検証し、新たなまちづくり指針を策定するので、本件を含め、他の事業についても町民のニーズに照らし、真に必要な事業かどうかを判断したい。(町長)



問 東日本大震災による福島第一原発の事故に対応していた経済産業省の官僚は、事故の直後から原発廃炉後の地域対策を意識していたことが伺える。原発を軸にまちづくりを進めてきた立地自治体に規制強化という国の政策変更が廃炉を迫り、いずれは原発をたたむ時代が来ると思うが、町の将来を見据えた産業政策について町長の所見をお伺いする。

原発は廃炉を迎えることは事実であるが、現在の情勢をみると伊方原発が直ちに廃炉に向かうとは考えていない。これを踏まえての産業政策であるが、私は本町の基幹産業は今後も第一次産業が中心と考えている。佐田岬半島の恵まれた自然環境を最大限に活かして、農業・漁業を生業とする町民が豊かに暮らせる政策を引き続き積極的に講じていく。(町長)

答 当時の民主党政権では「2030年までに原発ゼロ」を目指していたため、経済産業省は当然に廃炉後のプロセスを検討する必要があったものと思う。しかし、現在の自民党政権では原発ゼロ政策を白紙撤回し、安全が確認された原発は再稼働を進めると明確に政策が転換された。また、本年7月に施行された新規制基準では、運転期間を原則40年間とし、一回に限り最大20年間延長できるとされている。議員が言うとおりに





菊池孝平議員

Q、亀ヶ池温泉の誘客対策として簡易型宿泊施設を整備してはどうか。
A、早期実現に向けて、具体的な検討に着手したい。

問 平成19年に新装オープンした亀ヶ

池温泉は、本年2月に百万人の来館者を達成した。露天風呂や塩サウナなど、様々なお風呂が楽しめるほか、お食事処や物産館もあり、オープンから2・3年間は珍しさもあってか、予想より来館者が多かったと思われる。しかし、平成21年度をピークに来館者が徐々に減少しており、様々な要因があるのかと思うが、今一つインパクトのある温泉にするにも必要かと思う。先日、大阪に住む同級生二人から温泉に宿泊施設があればしょっちゅう田舎に帰るのという話があり、他にも何人かの方に宿泊施設を作ってほしいと言われたことがある。今の財政下、あまり費用のかかるものは考えられないが、最小の経費で効果的な対応ができる簡易型宿泊施設を温泉に備える考えはな

いか。

答 亀ヶ池温泉は町内外の多くの方々

にご利用をいただき好評を得ているが、ご指摘のとおり平成21年度をピークに3年連続の減少となっている。

要因は町外利用者の減少であり、その背景には高速道路の南予延伸や東日本大震災の社会的な影響等が推測される。全国の日帰り型温泉においてもオープンから2・3年後に減少する傾向が見られ、その原因は一定期間が過ぎると興味が低下し、利用者が遠ざかるものとされている。従って、減少に歯止めをかけるには施設に変化を持たせることが重要であり、議員が提案された簡易型宿泊施設の整備は非常に的を得たものと受け止めている。ついては、今年度策定する「新たな観光振興策」の中で十分に検討し、具体的な整備方針を模索したい。

(町長)



Q、公園を管理する作業チームを作り、常に快適な空間整備を。
A、現在の管理状況を調査点検し、最善の方法を取る。

問 本町には数多くの公園があり、管理

形態も様々ようだが、もう少し早めに除草作業ができないものかいつも思う。この夏場には子供の背丈程になっている公園が何ヶ所か見受けられた。どの公園も子供から大人までの憩いの場であり、癒しの場である。本町には、町長の肝入りでできた地域環境対策作業チームがあり、以前に比べると地域の道路がいつも綺麗で町民も非常に喜んでいる。ついては、この様な作業チームをもう一チーム作り公園管理に当たってはどうか。業者委託の予算でできるのではないか。雇用対策にもなると思うが、町長の考えをお聞かせ願

いたい。

答 本町には60の公園施設があり、その

管理を指定管理者が行う公園と町が直接行う公園がある。町が直接管理する公園については業務の一部を建設業者や地元の団体等に委託しているが、契約内容によって除草作業にバラツキがあり、ご指摘のような苦情を頂いたことがある。私としては適切な管理に努めるよう担当課を指導し、必要な予

算を確保してきたつもりであるが、現在も適切に管理されていない状況であれば早急に改善しなければならぬ。

ご提案の作業チームの設置については、適切な管理に必要な業務量の把握や現在管理をお願いしている方々との協議が必要であり即答できないが、公園を安全かつ快適に利用できるように町が責任を持って取り組むことについてはこの場でお約束させて頂く。

(町長)



【第30回臨時会報告】

第30回臨時会が、8月21日に開催され、
上程された議案は、すべて原案のとおり可決されました。

- 町道宇和海線道路防災工事請負契約の締結
契約金額 4,788万円 藤川建設 有限会社
- 町道田部高茂線道路改良工事請負契約の締結
契約金額 6,279万円 藤川建設 有限会社
- 町道神崎国道線道路改良工事請負契約の締結
契約金額 7,350万円 有限会社 三崎建設
- 町道宇和海線道路改良工事請負契約の締結
契約金額 5,418万円 有限会社 竹場建設
- 町道塩成港線道路改良工事請負契約の締結
契約金額 4,935万円 堀田建設 株式会社伊方支店
- 町道灘線道路改良工事請負契約の締結
契約金額 5,449万5千円 飛田建設 有限会社
- 町道湊浦奥線道路改良工事請負契約の締結
契約金額 6,237万円 田中建設 有限会社
- 伊方町農水産物処理加工施設拡充整備事業請負契約の締結
契約金額 2億3,940万円 株式会社 ダイキアクシス

～ 傍聴席のガラスを撤去します ～



伊方町議会では、今回傍聴席のガラスを撤去することにしました。主たる目的は、議会状況の撮影をスムーズに行うためですが、議場と傍聴席を仕切るガラスが無くなることにより、町民の皆さんにとってより身近な議会になることを期待するものです。議会には、定例会・臨時会があり、定例会は条例によって3・6・9・12月の計4回開催されることになっています。臨時会は必要に応じて開催されます。定例会では、議員の一般質問があり、町政の様々な問題について議論が行われます。議会の傍聴は原則自由にできますので是非一度ご覧下さい。車いすでの傍聴もできます。詳しくは、議会事務局（38-2662）までお問い合わせ下さい。

産業建設委員会協議会

農林水産省研修生と農政談義

8月27日、産業建設委員会協議会を開催。本町を訪れた農林水産省の松本小夏さんと農業の現状と課題について意見を交わしました。松本さんは約1ヶ月間、農業生産法人（株）ニューズ（門田治満社長）で柑橘農業の実態を体感します。入省2年目ということですが、さすが日本の農政を背負って立つ方だけあって、農政に対する抱負をしっかりと語っていただきました。松本さんには研修の成果を今後の政策に反映していただき、柑橘農業の応援団として活躍されることを期待します。



原子力発電対策特別委員会



原子炉に係る新たな規制基準を確認

9月9日、第2回特別委員会を開催。会議では、本年7月に示された原子炉に係る新たな規制基準について国の説明を受けた後、四国電力から安全審査の進捗状況について報告を受けました。四国電力に対しては混乱が続く福島第一原発の汚染水問題を取り上げ、その対策を質すと共に、国に対しては速やかな事故の総括を求めました。町内外で議論されている伊方発電所3号機の再稼働については、ゆるぎない安全性の確認が何にもまして優先するため、立地町議会として適切な判断を下せるよう引き続き議論を深めていきます。

委員会（協議会）報告

月 日	委員会（協議会）	概 要
8月12日	議会運営委員会	第30回臨時会の運営について
8月27日	産業建設委員会協議会	農林水産省の農村派遣研修生との意見交換
9月3日	議会運営委員会	第34回定例会の運営について
9月9日	議員全員協議会	条例の制定等について 伊方町地域防災計画の改訂について 平成24年度伊方町の財政の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について 伊方町ホームページのリニューアルについて 伊方つわぶき荘改修工事に伴う補助について 地域資源を活かした新たな観光振興策について 八幡浜漁協からの支援要請について 町道路線の認定について 和解及び損害賠償の額の決定について 佐田岬小学校学校統合計画の進捗状況について 平成24年度伊方町の教育に関する事務の点検・評価報告書について その他 ①平成25年度伊方町一般会計補正予算（第2号）概要 ②その他
	原子力発電対策特別委員会	実用発電用原子炉に係る新規制基準の概要について 伊方発電所3号機 新規制基準への適合性確認に係る申請及び安全協定に基づく事前協議の概要について その他
9月17日	議員全員協議会	平成24年度一般会計等決算審査
10月31日	議会運営委員会	第31回臨時会の運営について

[秋まつり]

各地域で毎年恒例の秋祭りが行われました。豊作・豊漁を神に願い感謝する祭りです。地域により違った五ツ鹿、牛鬼、四ツ太鼓、唐獅子、相撲甚句、浦安の舞。全部の写真を載せることは出来なかったのですが、ぜひまた広報誌等で確認してみてください。



議 会 日 誌

- 8月12日 議会運営委員会
県町村議会議長会第1回定例会（松山）
町防災会議
- 15日 県戦没者追悼式（松山）
- 19日 佐田岬小学校統合合意書調印式
県町村監査委員協議会研修会
- 20日 町人権・同和教育地域推進員研修会（伊方地域）
- 21日 第30回臨時会
- 22日 原子力講演会
- 23～24日 町バレーボール教室交流会
- 25日 愛媛スポレク祭2013伊方町大会
- 27日 産業建設委員会協議会
町人権・同和教育地域推進員研修会（瀬戸地域）
- 29～30日 第38回部落解放・人権西日本夏期講座（徳島）
- 30日 町環境監視委員会
- 9月3日 議会運営委員会
- 9日 議員全員協議会
原子力発電対策特別委員会
- 11日 例月現金出納検査（監査委員）
- 12日 町人権・同和教育地域推進員研修会（三崎地域）
第45回みのり会総会
- 13日 第34回定例会

- 9月17日 議員全員協議会（決算審査）
- 19日 第34回定例会
- 24～25日 四国四県町村長・議長大会（高知）
- 25日 町老人クラブ連合会スポーツ大会
- 29日 第2回伊方町民運動会
- 10月1日 国際交流体験報告会
- 2日 町戦没者追悼式
- 8～9日 町村監査委員全国研修会（東京）
- 9日 県社会福祉大会（松山）
- 18日 定期監査・例月現金出納検査（監査委員）
- 22日 県原子力防災訓練
- 28日 八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合
議会定例会（大洲）
- 31日 議会運営委員会・議会だより編集委員会
南予水道企業団議会定例会（宇和島）
- 11月1～
- 2日 全国原子力発電所立地市町村議会
議長会役員会（東京）
- 5～6日 四国地区町村議会議長会研修会並びに
第2回町議会議員研修会（松前町）
- 6～8日 部落解放研究第47回全国集会（高松市）
- 8日 定期監査・例月現金出納検査（監査委員）
- 9日 町社会福祉大会